

次代を支える子供たちを“グローバル・ICT人財”に育てる

指導者養成講座 体験セミナー

日時 ①2019年8月 9日(金) 10:40～15:40
②2019年8月 10日(土) 10:40～15:40

参加無料

経験・年齢不問

『人財育成という社会貢献』×『誰でもできる ICT』でキャリアプラン

ICT を使い、世界と協働して社会に貢献できる人財を育成する指導者が求められています。

インターネットであらゆる人、モノ、情報が世界とつながり、グローバル化は加速し AI が日進月歩で進化する中、社会を動かす仕組みやルール、人々のライフスタイル・・・あらゆるモノやコトが刻々と変化し続けています。

次代を担う子どもたちには、こうした変化に向き合い、時にはその先を読み、ICT を使いこなしながら、世界と協働してより良い社会づくりに貢献できる力が、生きていく上で必要になるでしょう。そして今や、それを育む人間教育は、地球規模の課題となっております。

日本でも 2020 年にはその取り組みの一つとして小学校でプログラミング教育の必修化がスタートします。それに伴い、これまでの人生経験を生かし、今後は未来を託せる“グローバル・ICT 人財”を育成する指導者という『新しいキャリア』に対する需要が益々広がることとなるでしょう。

世界で活躍するサイエンスエリート育成のプロによる指導を体験。

こうした時代の要請に応えるべく、早稲田大学エクステンションセンターでは、世界で活躍するサイエンスエリートや国際科学ジュニアオリンピックの世界チャンピオンを多数輩出してきたエキスパートの指導による、ロボットのプログラミングをベースとした教育プログラムで、ICT 人財育成指導者を養成するプログラムを立ち上げる計画を進めています。

ICT 活用が遅れている教育界へあなたの指導力を生かしてみませんか？

つきましては、本プログラムのご体験を通じて、ICT 人財育成指導者の社会的使命、求められる素養、仕事しての現状と将来等への理解を深めて頂く機会をこの度ご用意致しました。

ICT の世界では、文系出身の方が半数を占めています。また 60 歳から始められたプログラマーもおられます。

世界のこれからに貢献できる人財の育成にご関心をお持ちの方、
ライフワークとしてお考えの方、人の育成を通じて自らも学び成長されたいとお考えの方なら、
プログラミング経験、年齢は不問、どなたでもチャレンジ頂けます。皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム & スケジュール(両日共通)

1 部 10:40 育成ゴールをイメージする：『グローバル ICT 人財の原石の実力』

地球規模の課題(宇宙観測、環境保全、防災等)に挑戦する子どもたちの取組みの紹介。

2 部 11:10 育成指導者を理解する『グローバル・ICT 人財育成指導者の職業理解』

・社会的使命と取り巻く環境 ・今後の需要見込 ・活躍までのストーリー ・指導者に求められる能力と評価ポイント

3 部 12:40 ロボットプログラミング体験教室

・プログラミングの基礎を学ぶ。 ・ロボットをプログラミングして動かして課題に挑戦。
・老若男女がペアで取り組み、チームで成果を競う。

実施要領

日 時 ①8月 9日(金)10:40～15:40(昼休憩 1 時間を含む)
②8月 10日(土)10:40～15:40(昼休憩 1 時間を含む)
※両日、同じ内容の講座を行います。いずれかの日にお申し込みください。
対 象 ICT 人財育成指導に関心、意欲のある方。
・IT 技能、知識、プログラミング経験、年齢不問。
・シニア ・主婦 / 主夫 ・社会人 ・大学生 ・専門学校生 など
場 所 早稲田大学早稲田キャンパス 3号館 7階 702 教室
定 員 ①、②各 30 名
主 催 早稲田大学エクステンションセンター
企画 / 運営 株式会社インターフォルム・子どもの理科離れをなくす会
参 加 料 無料(試行プログラムのため受講後のアンケートへの回答は必須)
申込方法 オープンカレッジ会員の皆様は通常の講座と同様に、当センター HP もしくはお電話にてお申し込みください。その他の方は「Peatix」内にございます本セミナー募集ページよりお申込みください。URL は以下の通りです。
「Peatix」URL : <https://waseda-ex-ict.peatix.com>
お問い合わせ先 早稲田大学エクステンションセンター早稲田校
Tel : 03-3208-2248 Email : wuext@list.waseda.jp

講師紹介

子どもの理科離れをなくす会代表
(一社) 国際科学教育協会代表理事

北原 達正氏



京都大学大学院で宇宙物理学専攻。
2003年同会を発足。JAXAの協力を得てSpace Robot Contestを開始。
ロボット・科学教育を通じて、人間教育と未来に通用する人財育成に努める。
全国各地の公立、私立小・中・高・大学でもプログラミングをはじめとする科学指導を行う。